



日本共産党

北区議会議員

のの山けん区政レポート

http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.42 2008.3.27

発行 のの山けん事務所
〒115-0042志茂4-6-15
ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

都議会 自民・公明の賛成で **新銀行東京** 都民1人あたり6500円 **400億円追加出資を可決**

東京都議会で、自民・公明が新銀行東京への追加出資として400億円を投入する08年度補正予算を可決したことに、都民の怒りが広がっています。
この間の世論調査でも、都民一人あたり6500円にもなる400億円の追加投入について「反対」と答える人が7割以上にのぼっています。



街頭で都民の声を聞く、そね都議（中央）

無反省の石原知事 「おわび」から一転
「世論調査なんか
気にしていいたら政治できない」

25日の都議会予算特別委員会では、日本共産党の、そねはじめ都議が「知事の責任は免れない。400億円を追加出資したいのなら潔く辞職し、選挙で都民の判断を仰ぐべきだ」と追及しました。

追加出資が決定したあと、石原都知事は前日の「おわび」から一転、「世論調査なんか気にしていいたら政治なんかできない」などと開き直りました。

追加投入に都民は？

「読売」3月25日付

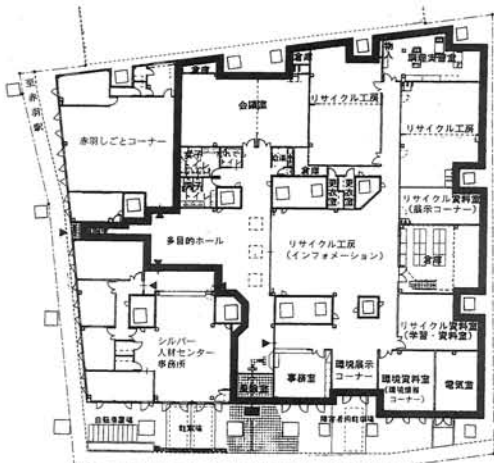
反対 **73%**

賛成 **17%**

「朝日」3月24日付

反対 **73%**

賛成 **17%**



赤羽駅南高架下にエコー広場館

●赤羽しごとコーナーもリニューアルオープン

3月13日、赤羽駅南高架下に区内4ヵ所目となる「赤羽エコー広場館」がオープンしました。リサイクル工房や多目的ホールなど広いスペースを活用して、今後、環境大学などが開催されます。「赤羽しごとコーナー」も赤羽会館から移設され、24日にリニューアルオープン。年4回、若者・女性むけ就労相談会が開催されます。

ワンルームマンション規制条例

北区議会第1回定例会で可決 日本共産党の提案実る

3月21日に閉会した北区議会第1回定例会で、「東京都北区集合住宅の建築と管理に関する条例」が全会派一致で可決されました。

北区でもマンション建設が急激にすすんでいますが、なかでも投資目的のワンルームマンションの急増は、住民定住化の障害となったり、ゴミ出しをはじめとした居住マナーなど、地域環境に大きな問題をもたらしています。昨今、23区内でもワンルームマンションの規制にのりだす区が増えています。北区でも条例可決によって、ようやく実現にふみだすことになりました。今年10月からの施行となります。

今回の条例で、これまでの「居住環境整備指導要綱」や「中高層建築物の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例」か

ら、規制が強化された部分は、(1)マンションの住戸面積は、これまでの18㎡以上から25㎡以上とする(ただし建築主が個人の場合は22㎡以上)、(2)ワンルームを多く含むマンションについて、家族向け(ファミリータイプ)住戸の設置基準を引き上げる、(3)近隣居住者への説明については、申し出がなくとも説明の義務を有する、などです(左図参照)。

日本共産党北区議員団はこれまで、区議会できりかえしワンルームマンション規制条例の制定を求めていました。

東京都北区集合住宅の建築と管理に関する条例の主な内容

項目	主な内容	現行との比較
住戸専有面積	25㎡以上。 ただし、個人である建築主は22㎡以上。	18㎡以上
家族向け住戸の設置	ワンルーム形式住戸を30戸以上含む場合、家族向け住戸(55㎡以上)を設置。 *総戸数から30を減じたものに2分の1を乗じた数以上	家族向け住戸(50㎡以上)は、15戸を超える住戸の2分の1以上設置。全住戸とも25㎡以上ある場合、30戸を超える2分の1以上設置
近隣居住者への説明	申し出がなくとも、戸別訪問または説明会により説明	新設

赤羽岩淵駅前22階建マンション計画

住友不動産は住民への説明責任を果たせ

赤羽岩淵駅前に計画されている22階建マンション建設について、建築主の住友不動産が住民に対し「住民説明会は、もうやらない」と伝えていることが明らかになりました。これまで3回開いた説明会でも、風害など住民の不安の声は解消されていません。一方的に説明を打ち切るようなことは許されません。

